

ホタテガイ稚貝に付着したフジツボについて

田中 俊輔

はじめに

本年夏の稚貝へい死に際し、上磯地区管内の稚貝を調査したところ、稚貝の表面にシロフジフジツボ（以下フジツボ）の付着がみられたのでその付着状況を報告する。

方 法

- 1) 調査期間：9月13日
- 2) 調査場所：平館村（3点）、蟹田町（2点）、蓬田村（1点）、青森市後潟（2点）
- 3) 調査方法：各漁協の異なる地区から1-3連のパールネットを当所に運搬し、それぞれ、中段（水深8.5-19m）に収容した稚貝に付着しているフジツボを計数した。

結果の概要

第1表

項 目	調査点							
	平 館 村			蟹 田 町		蓬田村	青森市	
	今津	舟岡	磯山	石浜	蟹田		後潟	後潟
稚貝の調査個数	40	47	49	23	27	20	46	47
フジツボの付着個数／稚貝	748	379	250	120	99	26	30	47
フジツボの平均付着個数	18.7	8.1	5.1	5.2	3.7	1.3	1.5	1.0

平館村、蟹田町、蓬田村、青森市の順に上磯地区を南に来るほどフジツボの付着が少なくなった。

これらのフジツボが付着した稚貝は翌年早々に行われる耳吊り養殖作業に支障をきたすことが懸念されたが、作業時にはほとんど付着しておらず、地まき放流稚貝についても同様であった（このフジツボは腐って死ぬという話が漁業者間にある）。なお、陸奥湾の一部地区では冬季間に付着するといわれているミネフジツボを防除するためにホタテガイの垂下水深を変える試みがなされている。